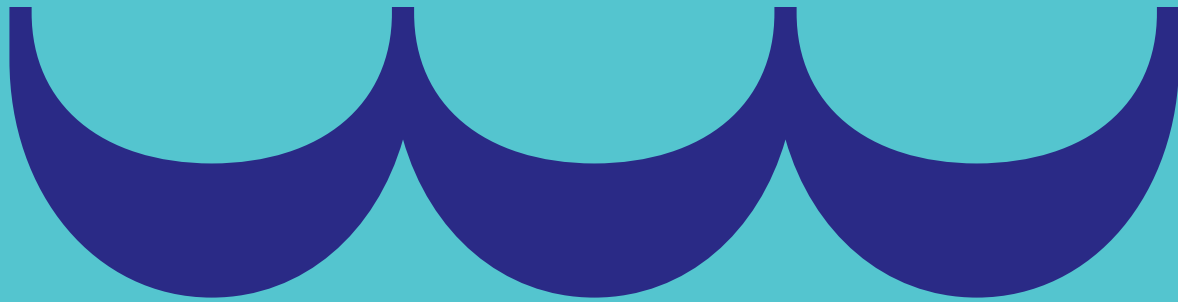


# 神戸で開催された MICEに関する調査レポート



一般財団法人 神戸観光局  
神戸コンベンションビューロー



はじめに	… 3
本調査レポートについて	… 4
調査結果	
① 開催件数の推移	… 5
② 参加者数の推移	… 6
③ 開催時期の傾向	… 7
④ 開催曜日の傾向	… 8
⑤ M/I/C/E 別開催件数と割合	… 9
⑥ M/I/C/E 別参加者数と割合	… 10
⑦ M/I/C/E 別大型MICEの開催件数と期間	… 11
⑧ 大型コンベンションの現地参加率	… 12
まとめ	… 13
おわりに	… 14

## はじめに ～調査の背景と目的～

平素より神戸観光局・神戸コンベンションビューローの活動にご理解を賜り誠にありがとうございます。

当ビューローは、地域経済の発展と市民文化の向上に寄与することを目的として、神戸市へ学会・会議・イベント等のMICE※1を誘致し、市内で開催されるMICEの支援等を行っています。

神戸市が2013年に観光庁の「グローバルMICE都市」※2として選定されたことを皮切りに、当ビューローでは、市内のMICE関連事業者・団体の皆さまとの連携強化に努め、MICE誘致に力を入れると共に、市内で開催されたMICEの実態調査にも取り組んで参りました。その結果、国際会議の開催件数は、日本政府観光局(JNTO)によると2017年から3年連続400件以上、東京に次いで全国2位を維持することができました。

しかし、2020年春から新型コロナウイルス感染症の拡大により、MICEの延期・中止が相次ぎ、MICEが急減したことで業界は経済的に大きな打撃を受けました。特に、平日に開催されることが多いMICEの需要に支えられていたホテル関係者の皆さまからは、早期のMICE復活を求める声が多く寄せられました。今年度春からは渡航制限がなくなりMICEが復活しつつあります。このような状況下で、また神戸市が「グローバルMICE都市」に選定されて10年目の節目

に合わせて、当ビューローでは、過去に収集したデータを用いて、コロナ禍前後の市内MICEの開催状況を分析しました。MICEの中でも、特にM(企業ミーティング)とI(インセンティブ旅行)は、企業活動の一環で行われるため統計データに乏しく、実態把握が難しいとされているところ、本データは市内MICE施設・ホテルの皆さまの協力によって収集できた貴重な資料となります。今後、この分析結果を参考にますます多くのMICEを誘致すべく尽力する所存です。

調査にご協力いただいた方々をはじめとして、MICE関連事業者・団体の皆さまに幅広くご覧いただき、MICE誘致に更なるご理解とご協力をいただきたくよろしくお願い申し上げます。

2023年9月

一般財団法人神戸観光局  
神戸コンベンションビューロー

※1 企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

※2 日本のMICE誘致競争を牽引することができる実力ある都市を育成するため、観光庁が2013年に「グローバルMICE都市」を7都市選定し、MICE誘致力向上のための支援事業を実施。現在は12都市に増えている。

# 本調査レポートについて

## 調査方法

神戸市内でどのようなMICEが開催されているかを把握するため、毎月末に対象施設へ月内に開催されたMICEについてのアンケートを実施しました。

**調査期間** 2017年4月～2023年3月（6年間）

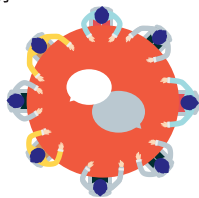
**対象施設** 市内MICE施設 28箇所（公共施設7箇所、ホテル11箇所、その他10箇所）

## MICEの分類基準

上記のアンケート調査で収集した17,166件のデータを以下の条件でM/I/C/Eに分類しました。

### M 企業ミーティング eeting

- 1 企業・民間団体が主催する会議・研修等
- 2 50名以上



### I インセンティブ旅行 ncentive Travel

- 1 企業が主催する報奨旅行



### C コンベンション onvention

- 1 学協会等の非営利団体が主催する学会・会議等
- 2 50名以上



### E 展示会 / イベント xhibition/Event

- 1 展示会、イベント
- 2 50名以上

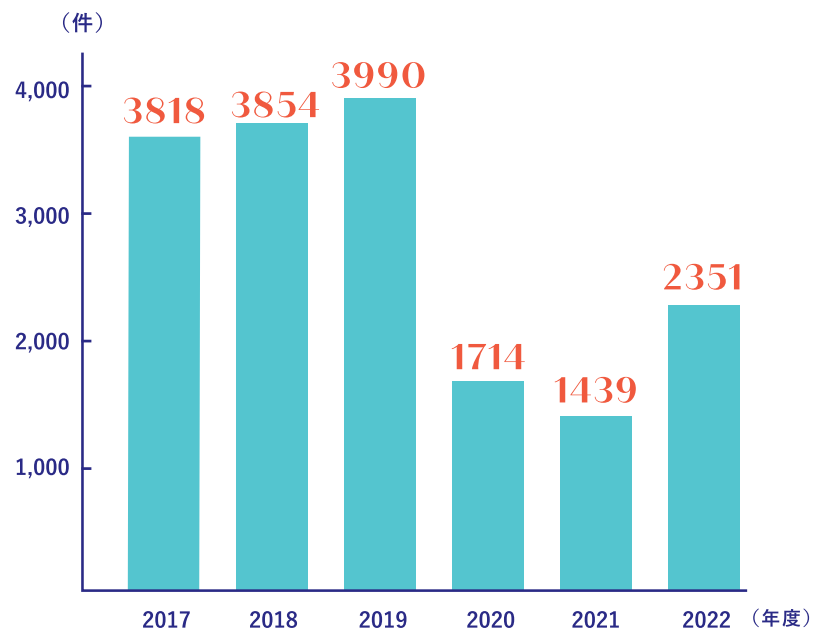


# 調査結果 ① 開催件数の推移

2017～2022年度の市内MICE開催件数がどのように推移したかを調べました。

- MICEの開催件数をグラフにしたところ、コロナ禍前は、神戸市内で年間平均約3,900件のMICEが開催されていたことが明らかとなりました。
- 2020年度、21年度の件数は、コロナ禍前の40%程度となりましたが、オンラインを活用し、感染対策を講じた上で、ハイブリッドMICE\*1が開催されていました。その結果、コロナ禍の中においても年間1,400件以上の実績を数えることができました。
- 2022年秋の渡航制限緩和以降は回復傾向にあり、コロナ禍前の60%台まで持ち直しています。

2017～2022年度の市内MICE開催件数



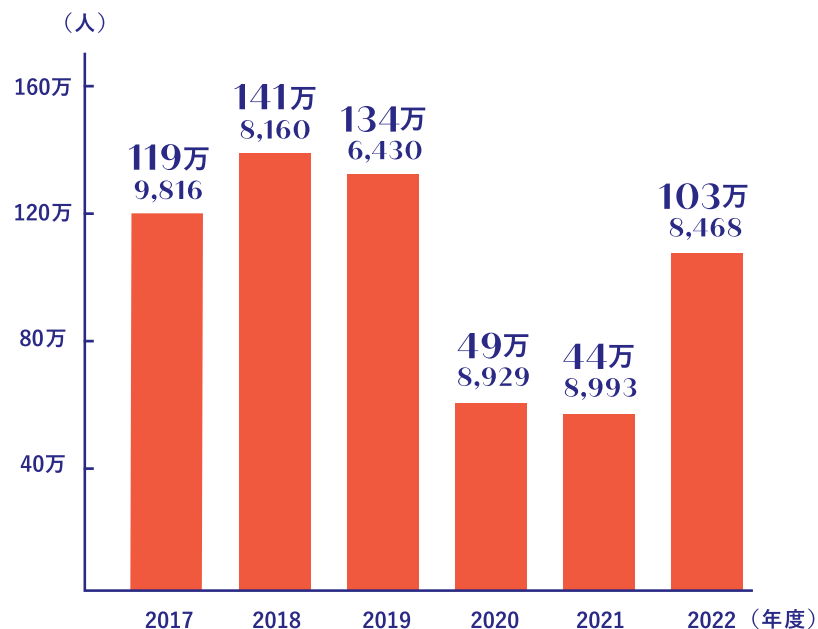
※1 ハイブリッドMICE:現地参加だけでなく、オンラインでも参加できるMICE

## 調査結果 ② 参加者数の推移

2017～2022年度の市内MICE参加者数がどのように推移したかを調べました。

- コロナ禍前は年間平均130万人以上のMICE参加者が神戸に来ていました。
- コロナ禍により2020年度、21年度は参加者数が減りましたが、MICEはビジネスに必要なコミュニケーションの機会であるため、コロナ禍前の35%は継続的に参加していました。
- 開催件数と同様、2022年秋以降は大きく参加者が戻り、コロナ禍前のおおよそ80%となる約103万人が神戸に来ていました。

2017～2022年度の市内MICE参加者数

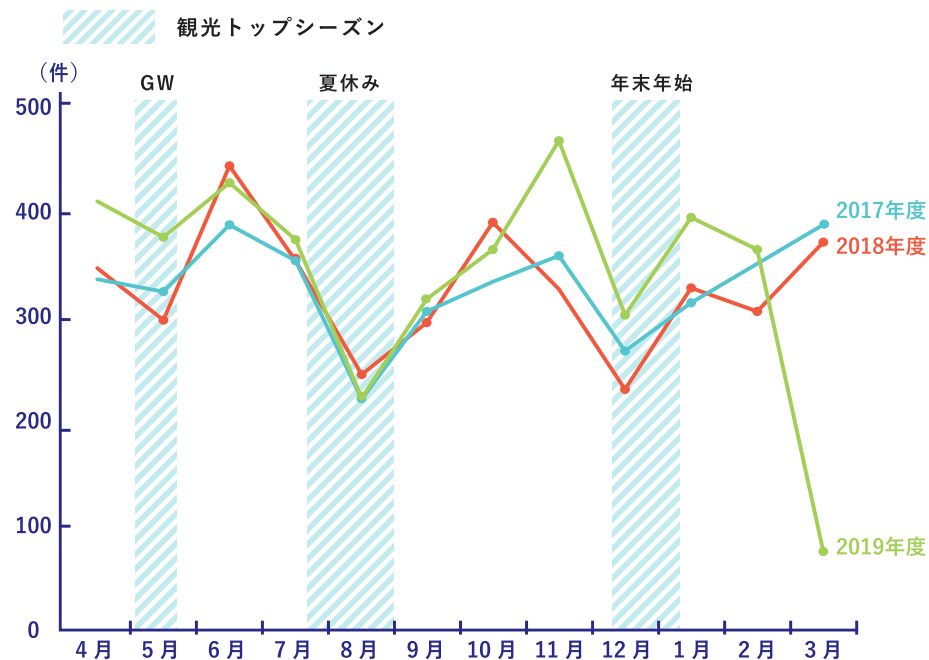


## 調査結果 ③ 開催時期の傾向

コロナ禍前の2017～2019年度における月ごとの市内MICE開催件数と開催時期の傾向を調べました。

- GW(ゴールデンウィーク)・夏休み・年末年始といった、観光のトップシーズンは開催が少なく、それ以外の時期、特に5月中旬～6月と10月～11月は、より多くのMICEが開催されていました。

### 2017～2019年度の月ごとの市内MICE開催件数

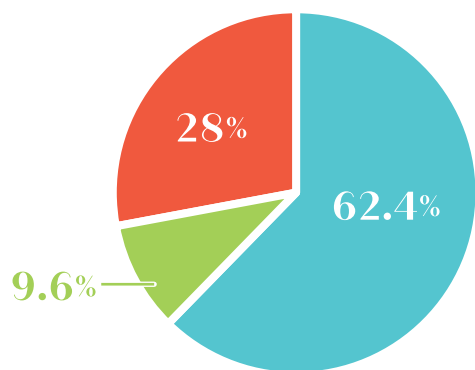
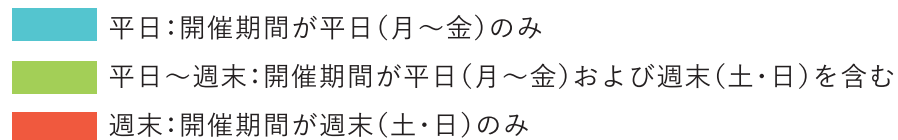




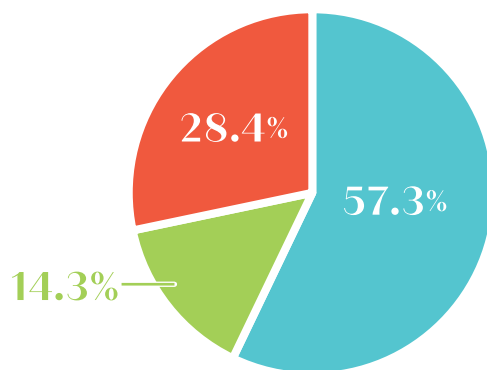
## 調査結果 ④ 開催曜日の傾向

コロナ禍前の2017～2019年度のMICEが平日と週末のどちらに開催されているかを調べました。

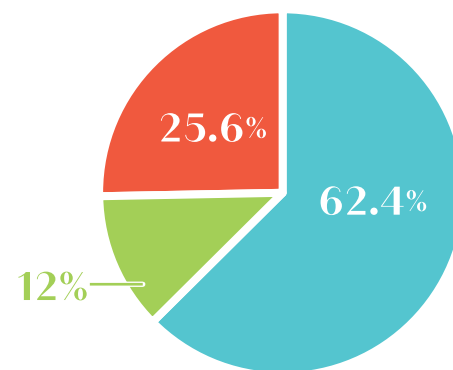
● 約60%のMICEが、観光客が少ない平日(月～金)に開催されていたことが明らかになりました。



2017年度



2018年度



2019年度

## 調査結果 ⑤ M / I / C / E 別開催件数と割合

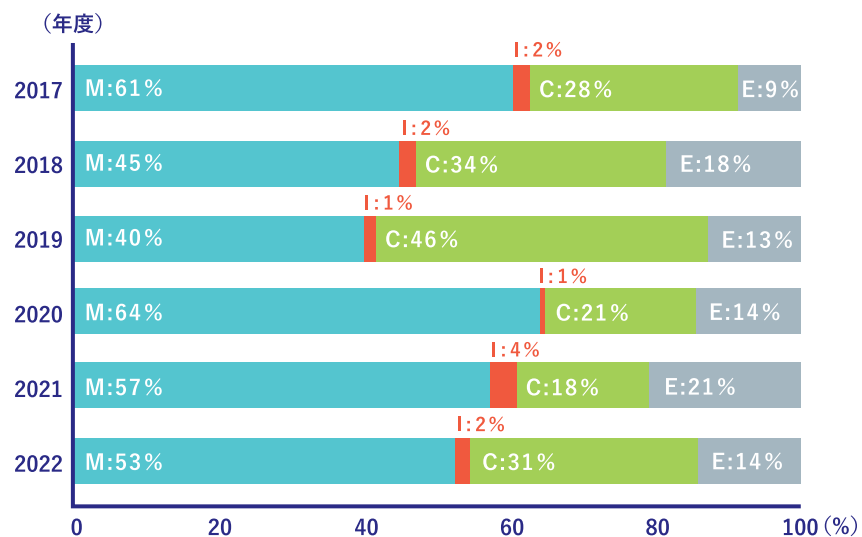
2017～2022年度の市内MICE開催件数をM/I/C/Eに分類しました。

- 開催件数は、M(企業ミーティング)が6年間平均約1,470件(約53%)と最も多く、次いでC(コンベンション)が約930件(約30%)、E(展示会/イベント)が約400件(約15%)となりました。

M / I / C / E 別件数(単位:件)

年度	M 企業ミーティング	I インセンティブ旅行	C コンベンション	E 展示会/イベント
2017	2,322	82	1,082	332
2018	1,739	87	1,316	712
2019	1,598	58	1,829	505
2020	1,099	11	361	243
2021	826	51	262	300
2022	1,237	48	735	331

M / I / C / E 別割合(単位:%)



## 調査結果 ⑥ M / I / C / E 別参加者数と割合

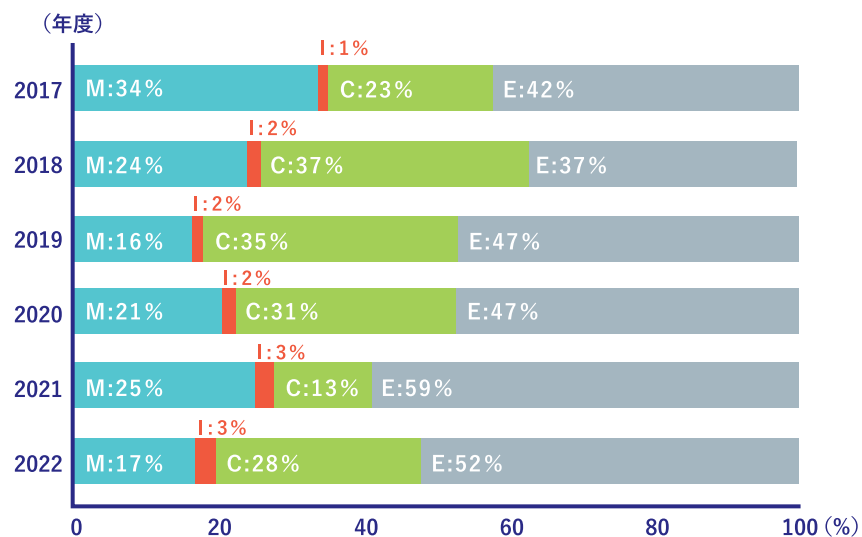
2017～2022年度の市内MICE参加者数をM/I/C/Eに分類しました。

- 参加者数は、E(展示会/イベント)が6年間平均約450,000人(約53%)と最も多く、次いでC(コンベンション)が約296,000人(約30%)、M(企業ミーティング)が227,000人(約15%)となりました。

M / I / C / E 別参加者数(単位:人)

年度	M 企業ミーティング	I インセンティブ旅行	C コンベンション	E 展示会/イベント
2017	406,517	14,865	274,144	504,290
2018	339,965	27,824	523,391	526,980
2019	220,717	22,843	472,573	630,297
2020	103,499	8,138	152,418	234,874
2021	113,202	11,535	60,246	264,010
2022	179,090	27,402	292,511	539,465

M / I / C / E 別参加者数割合(単位:%)



## 調査結果 ⑦ M / I / C / E 別大型MICEの開催件数と期間

コロナ禍の影響を受けていない直近の2018年度をサンプルとし、  
大型MICE(参加者1,000人以上とする)をM/I/C/E別に分類し、開催件数と期間を分析しました。

- C(コンベンション)は開催件数が最も多く(63件)、期間も長い(平均2.77日)ことがわかりました。  
そのため、大型コンベンションが開催されると、より多くの宿泊需要が生まれます。

### ①1,000人以上の大型MICE 開催件数 (件)

M 企業ミーティング	I インセンティブ旅行	C コンベンション	E 展示会/イベント	計
37	2	63	44	146

### ②1,000人以上の大型MICE 平均開催期間 (日)

M 企業ミーティング	I インセンティブ旅行	C コンベンション	E 展示会/イベント
2.05	1.50	2.77	1.70

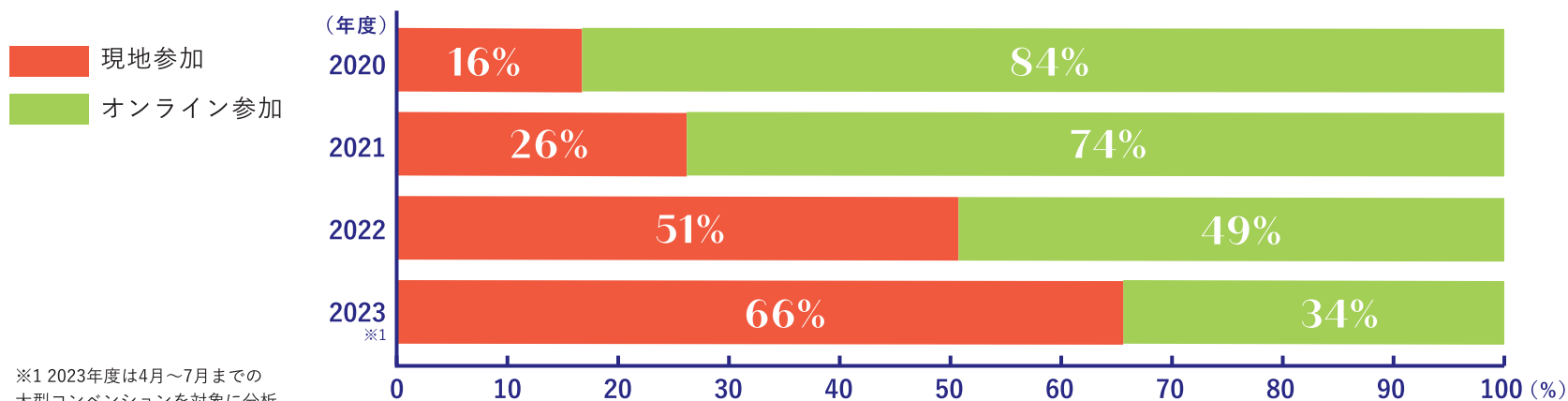
## 調査結果 ⑧ 大型コンベンションの現地参加率

多くの宿泊需要が生まれる、大型コンベンションですが、コロナ禍によりオンラインの活用が進み、参加者が現地に行かなくてもよいハイブリッド形式での開催が増えました。

そこで、2020～2023年度に市内で開催されたハイブリッド形式の大型コンベンションの現地参加率を調査しました。

- 2020年度、21年度における現地参加率は、10～20%台でしたが、2022年度は秋からの渡航制限緩和の影響を受けて51%まで伸び、2023年度は66%まで回復していることが明らかになりました。

### 1,000人以上の大型コンベンションにおける現地参加・オンライン参加率



## まとめ ～神戸の調査結果から分かるMICEの特徴と重要性～

### 厳しい環境下でもMICEは 途絶えることなく開催され続ける

新たなビジネスやイノベーションが生まれる交流の場として重要な役割を果たすMICE。コロナ禍により開催件数・参加者数は減少したものの、感染対策を講じオンラインを活用しながら開催され続けました。2023年に渡航制限が解除されてからは、国内外のMICE参加者が増える傾向にあり、開催件数・参加者数ともにコロナ禍前の水準へ戻ってきています。

### E(展示会/イベント)、C(コンベンション)は より多くの市内消費が見込める

MICEの中で最も開催件数が多いのはM(企業ミーティング)、参加者数が多いのはE(展示会/イベント)、1,000人以上の大型が多く開催期間が長いのはC(コンベンション)とそれぞれの特徴が分かりました。多くの人に参加するE(展示会/イベント)と規模が大きく長く開催されるC(コンベンション)は、MICEの中でも特に多くの市内消費が見込めます。

### MICEと観光の両方があることで、 年間を通して需要が平準化される

MICEは観光のトップシーズン以外の時期や平日に開催されることが多く、一般観光とは都市を訪れるタイミングが異なります。そのため宿泊施設・飲食店等は、比較的余裕がある時期に消費の多いMICE参加者を受け入れることが可能となり、結果、年間を通して地域の稼働が高まります。

### 現地参加にはオンラインでは 代替できない価値がある

コンベンションの現地参加率はコロナ禍前の約70%にまで戻ってきています。コロナ禍を通してMICE主催者・参加者はMICEに現地参加する価値を再認識しました。参加者同士の偶然の出会いや現地でしか味わえない様々な体験など、オンラインでは代替が難しい確かな価値が現地参加にあるためです。

## おわりに ～今後の神戸MICE誘致について～

今回の調査結果を踏まえて、神戸観光局・神戸コンベンションビューローは、より多くの消費を生むC(コンベンション)とE(展示会/イベント)を中心として、大阪万博や神戸空港の国際化を契機に今後可能性が広がるM(企業ミーティング)やI(インセンティブ旅行)も以下のとおり積極的に誘致します。また年間を通して地域の稼働を高める「現地開催」のMICEに注力して開催サポートを実施し神戸市のブランド向上に努めます。

### M 企業ミーティング Meeting | I インセンティブ旅行 Incentive Travel

2025年の大阪万博や2030年の神戸空港国際化を契機として、アジア諸国を中心に欧米諸国の旅行代理店やインセンティブツアー専門代理店、企業へ直接アプローチし、M(企業ミーティング)およびI(インセンティブ旅行)を誘致します。

### C コンベンション Convention

神戸医療産業都市<sup>※1</sup>を強みとした大型医学会への誘致に取り組みます。また、神戸空港国際化によりアジア地域へのアクセスが良くなり利便性が向上することから、アジア・オセアニア地域の国際会議の誘致に努めます。

### E 展示会 / イベント Exhibition/Event

MICE中核施設である神戸国際会議場・展示場の老朽化・規模不足が問題となっていますが、今後も地元産業への波及効果が見込める展示会や国際的なイベント等を積極的に誘致します。

※1 神戸医療産業都市 ポートアイランドに位置するバイオメディカルクラスター。理化学研究所や大学等の研究機関および神戸市立医療センター中央市民病院をはじめとした高度専門病院群、医療関連企業・団体が集積している。

## 神戸で開催されたMICEに関する調査レポート

---

2023年9月末発行

編著・発行：一般財団法人 神戸観光局

神戸コンベンションビューロー

〒650-0046

神戸市中央区港島中町6-9-1

神戸国際交流会館7F

TEL:078-303-0090

Website:<https://kobe-convention.jp/ja/>



**KOBE**  
for Change Makers

©一般財団法人神戸観光局 無断転載・複製禁止